

『守る、伝える、活かす文化財』

日時 2016年11月12日(土)10時10分～16時 受付開始 9時30分

場所 日本福祉大学半田キャンパス 101 講義室
(〒475-0012 愛知県半田市東生見町 26-2)

参加費 無料 ※当日も受け付けますが、資料準備の都合上、事前申込にご協力ください。

人々の生活や意識の変化により、文化財の捉え方や向き合い方は変わっていきます。ふだん文化財に関心がなくても、文化財が災害などによって突然失われると、大きな喪失感を受けます。文化財を守り伝えることは大切ですが、それと同じくらい文化財を常に意識し活用することが重要です。文化財を活用することが守り伝えることにもつながります。そこで今回は「守る、伝える、活かす文化財」をテーマに文化財について考えます。

○プログラム

開会あいさつ

報告① 「18世紀後半から19世紀前半にかけての尾州廻船

—内海船・野間船を中心に—

日本福祉大学知多半島総合研究所 歴史・民俗部 部長

日本福祉大学経済学部 教授

曲田 浩和

報告② 「文化財の保存と活用 —行政の立場・所有者の立場から—」

愛西市佐織公民館 館長

石田 泰弘氏

服部家 14代当主

服部 初弥氏

シンポジウム 「守る、伝える、活かす文化財」

問題提起 「地域にとっての文化財とは」

日本福祉大学名誉教授

日本福祉大学知多半島総合研究所 顧問

福岡 猛志

パネリスト

愛西市佐織公民館 館長

石田 泰弘氏

服部家 14代当主

服部 初弥氏

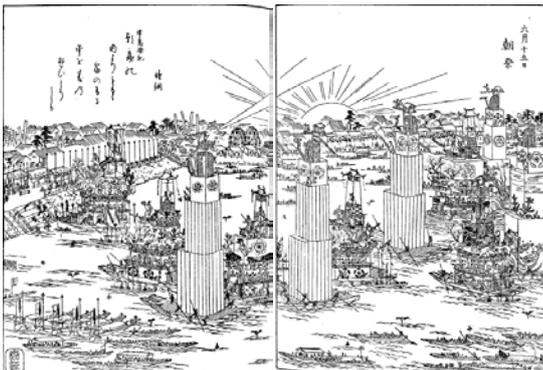
司 会

日本福祉大学知多半島総合研究所 歴史・民俗部 部長

日本福祉大学経済学部 教授

曲田 浩和

閉会あいさつ



「津島天王祭朝祭」『尾張名所図会』より

【お知らせ】

日本福祉大学知多半島総合研究所 機関誌

「知多半島の歴史と現在 20」

研究集会当日に無償配布予定!!

